

令和4年度第2回理事会の開催

令和4年度第2回理事会が令和4年6月22日、明治記念館及びインターネットを用いたオンライン出席を併用して開催された。本理事会では、協議事項、説明・報告事項、及び日本獣医師連盟の活動報告等について、説明・報告が行われた。議事概要は以下のとおりである。

令和4年度第2回理事会の議事概要

- I 日時：令和4年6月22日(水) 10:30～11:45
- II 場所：明治記念館・2階「鳳凰の間」
- III 出席者：（*はオンラインによる出席者）
- 【会長】 藏内勇夫
- 【副会長】 砂原和文、村中志朗
境 政人（兼専務理事）
- 【地区理事】 高橋 徹（北海道）、浦山良雄（東北）
鳥海 弘（関東）、上野弘道（東京）
石黒利治（中部）、吉岡 豊（近畿）
田中尚秋（中国）、佐野明彦（四国）
草場治雄（九州）
- 【職域理事】 西川治彦（産業動物臨床）
大林清幸（小動物臨床）
横尾 彰（家畜共済）
宮澤 隆（家畜防疫・衛生）
加地祥文（公衆衛生）
佐伯 潤（動物福祉・愛護）
- 【特任理事】 栗本まさ子
- 【監事】 宇佐美晃*、小山田富弥、柴山隆史
- 【顧問】 酒井健夫
- 【欠席】 佐藤れえ子（学術・教育・研究職域理事兼
獣医学術学会職域理事）

IV 議事：

【協議事項】

第79回通常総会対応に関する件

【説明・報告事項】

- 1 改正動物愛護管理法における販売用犬猫に対するマイクロチップの装着・登録の義務化に関する件
- 2 愛玩動物看護師法の施行・運用に関する件
- 3 愛玩動物における遠隔診療の適切な実施に関する件
- 4 第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会及び第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会の開催に関する件
- 5 令和4年福島沖地震及びウクライナ侵襲における被災動物等に対する支援等に関する件

【連絡事項】

- 1 当面の主要会議等の開催計画に関する件
- 2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

V 会議概要：

【開 会】

事務局から定款第41条に規定された定足数を満たし、本理事会が成立することが報告され、開会した。

【会長挨拶】

おはようございます。皆様方にはご多用の中ご出席を賜り、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、全国的に増加・減少の繰り返しが続いているようでございます。私どもは引き続きそれぞれ各自が、この感染症対策をしっかりと守って、そしてまた、それぞれの地方獣医師会あるいは日獣においても感染症対策に引き続き取り組んでいただきたいと、このようをお願いしたいと思います。

これまで日本獣医師会は、地方獣医師会の皆様方のご理解とご協力を得る中で、諸問題の解決に取り組んでまいりました。皆様方に大変ご心配をおかけいたしております。改正動物愛護管理法における販売用犬猫へのマイクロチップの装着・登録の義務化と狂犬病予防事業とのワンストップサービスにつきましては、本会が指定登録機関として獣医師会組織をあげて国民に貢献できるものと期待しておりました。しかし、このような期待に反し、新たな法定登録制度は本会が26年間取り組んできましたAIPO登録事業とは全く別の仕組みとされ、獣医師による情報検索は認められず、地方獣医師会の位置づけもなく、本会も多額の赤字運用を強いられるものとなっております。

このため環境省と、制度の抜本的な見直しの協議を継続するとともに、国会議員の先生方にご指導をいただきながら、次期の動物愛護管理法及び狂犬病予防法の改正を含む要請活動を実施しております。すでに麻生太郎自民党獣医師問題議員連盟会長をはじめ数十名の関係の国会議員の先生方に、直接要望をそれぞれわれわれ役員でいたしまして、環境省にはその強い声が届いておるとお聞きをしているところです。

一方、愛玩動物看護師法への対応等の課題につきましても、獣医師と愛玩動物看護師の適切な役割分担と連携によるチーム獣医療の提供体制の確立などを図りながら、愛玩動物看護師の雇用と処遇の改善に努めていかなければならないと思っております。引き続き酒井機構長

には大変ご迷惑をおかけいたしますけれども、よろしく
お願い申し上げます。

さらに本年11月、福岡で開催されます第21回アジア
獣医師会連合 (FAVA) 大会は、私が会長として主催を
させていただき、アジアからのワンヘルスアプローチを
テーマとして開催いたします。本大会は、ポストコロナ
時代の幕開けとして、通常の日常生活や経済活動の再出
発を期す記念すべき国際大会としたいと考えております。
また、令和4年度の日本獣医師会獣医学術学会年次
大会も同時開催されますので、これらの大会の成功を期
し、多くの獣医師の皆様方に参加登録をお願いしている
ところでございます。この点につきましては、役員の皆
様、また地方獣医師会の皆様方のご理解とご支援を、改
めて心からお願いを申し上げる次第でございます。

本日は理事、監事の皆様から忌憚のないご意見をいた
だき、この後開催される第79回通常総会の適正な運営に
資することとしたいと思っておりますので、どうぞよろ
しく願いを申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

【協議事項】

第79回通常総会対応に関する件

境副会長兼専務理事から、当日午後に開催される第
79回通常総会の議事内容及び対応について説明され、
了承された。

【説明・報告事項】

1 改正動物愛護管理法における販売用犬猫に対するマ イクロチップの装着・登録の義務化に関する件

境副会長兼専務理事から、法施行後1週間の運用状況
が説明された。WEBシステムのエラーやコールセン
ターがつながりにくいなど、制度開始初期の関係者の関
心の高さや運用の不慣れが浮き彫りとなる課題が明らか
になっているが、関係委託先等が鋭意努力し、円滑な運
用の実現に向けて努力していることが報告された。

また、民間登録としてのAIPOと法定登録の二重運用
となっており、飼育者に分かりにくいものとなっている
ことについて、環境省には獣医師会や関係者が26年間
にわたって培ってきたAIPOの仕組みをベースに、シス
テムの一本化を図っていただきたい旨要望し、制度の見
直しに向けた協議を継続していること、7月からはラウ
ンドテーブルを組んで、事務レベル、ハイレベルそれぞ
れでの密な協議が開始されることが説明された。

出席者から、「民間登録の方は、AIPOという名称が
いわばニックネームとして完全に定着している。法定登
録についても、何かニックネームをつけられないか。」
と要望された。

「AIPOの紙ベースでの登録について、マイクロチッ
プの流通の大きな変化や法定登録との関係等の諸事情に
より今後は行わないとのことだが、現場ではオンライン
登録が難しい場合もあり、紙ベースでの案内が必要な場

面も多い。継続をしていただきたい。」との意見に対し、
「ご意見の内容はよく理解している。今後紙ベースでの
登録も行えるよう整備する。」旨回答された。

「AIPOは民間登録であり、地方獣医師会が独自に普
及に向けた取組みを行える。獣医師会が登録料の助成や
登録支援を行っている県では、この2カ月だけでも650
頭以上の登録があった。全国で取り組めるような何らか
の仕組みをご検討いただきたい。」との意見が出された。

「法定登録について、紙ベースでの登録をしたとき
に、どこに用紙を注文したらよいかのわかりにくいので、
装着証明書に申請用紙の入手法を記載いただきたい。」
との意見が出された。

2 愛玩動物看護師法の施行・運用に関する件

境副会長兼専務理事から、資料に基づき、愛玩動物看護
師国家試験及び予備試験のスケジュール等が説明された。

3 愛玩動物における遠隔診療の適切な実施に関する件

境副会長兼専務理事から、資料に基づき本会小動物臨
床委員会において取りまとめた小動物診療分野における
遠隔診療のガイドラインである「愛玩動物における遠隔
診療の適切な実施に関する指針」について説明された。
今後地方獣医師会を通じた周知を図るとともに広く公表
することが了承された(指針の内容は本号390頁を参照)。

出席者から、「産業動物分野でも同様だが、獣医師が
農場(飼育者)と委託契約を結ぶような強い結びつき
の中で運用しないと危ういのではないか。」との意見が出
された。

4 第21回アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会及び第 40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会の開催に関 する件

境副会長兼専務理事から、第21回アジア獣医師会連
合 (FAVA) 大会及び第40回日本獣医師会獣医学術学
会年次大会の開催準備状況が説明された。

5 令和4年福島沖地震及びウクライナ侵攻における被 災動物等に対する支援等に関する件

境副会長兼専務理事から、令和4年福島沖地震及びウ
クライナからの避難民に同行する動物の飼育支援につい
て、対応が報告され、引き続きの支援協力を願いたい旨
説明された。

【連絡事項】

1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

境副会長兼専務理事から、当面の関係会議等の開催日
程が説明された。

2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

境委員長代行兼会計責任者から、活動報告及び第26回参議院議員通常選挙への対応が説明された。

【閉 会】

藏内会長から全ての議案が終了した旨報告され、円滑な議事進行への協力にお礼が述べられた後、事務局から閉会が告げられた。